

旧手宮鉄道施設（機関車庫三号）/小樽市



機関車庫三号

～現存する日本最古の機関車庫～

明治15（1882）年に全線開通した幌内鉄道の開業以来、小樽市手宮には機関車の輸送にかかわる様々な施設がつけられました。現在、小樽市総合博物館の構内には機関車庫（一号・三号）、転車台、貯水槽、危険品庫、さらに手宮の沖合まで伸びていた石炭専用の高架棧橋引き込み線の遺構である、レンガ擁壁が保存されています。これらは北海道の近代化を支えた重要な遺産とされ、「炭鉄港」唯一の国指定重要文化財となっています。

中でも、明治18（1885）年に竣工した機関車庫三号は、日本で現存する最古の機関車庫です。設計は米国で建築・土木を学び後に全国の鉄道建設に携わる平井晴二郎でした。

機関車庫と転車台は現在も博物館構内を走る蒸気機関車の運行に使用している現役の鉄道施設です。蒸気機関車が主流だった時代の鉄道システムが現在も稼働する貴重な遺産です。

住所

〒047-0031 小樽市手宮1丁目3-6（小樽市総合博物館内）

公開状況

公開

開館時間

9:30～17:00

入館料

一般400円（冬期300円）、高校生・市内在住70歳以上200円（冬期150円）、中学生以下無料

アクセス
（自動車）

札幌から約43km 約38分
【札幌自動車道 小樽IC降 約15分】

アクセス
（公共交通機関）

札幌から約1時間
JR函館本線 小樽駅降車～中央バス 総合博物館前降車

問い合わせ

小樽市総合博物館
電話：0134-33-2523